平戸小学校マニフェスト（中期学校運営計画）

計画期間　平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標　心豊かにたくましく未来を拓く平戸の子

○　自分のよさを発揮し、感性豊かに生きる力を育てます。
○　問題意識をもち、ねばり強く解決する力を伸ばします。
○　共に学び合い、社会とかかわっていこうとする力を育てます。

学校経営方針

○　子どもが安心して学べるように、子に応じたきめ細かな指導に努めます。
○　基礎・基本の確実な定着に向けて、地域に学び、考える力を育成する授業改善に取り組みます。
○　地域の教育力を活かし、まちと連携した学校づくりを進めます。
○　人間関係対応能力を育成します。
○　学校の安全管理の徹底を図ります。

指導の重点

○　地域の自然的文化的環境を活用し、地域社会と積極的に交流をして、体験から考える児童を育てます。
○　互いの人権を尊重し、だれもが安心して豊かに生活できる学校の実現を目指します。
○　学び続ける自己教育力の育成に努めます。
○　楽しい学校生活を送るため、自らの言動に責任を持ち、互いに協力して実践する態度を育てます。

改善の視点	取組目標
1　子どもの学力に関する議論がある中で、教科等の指導の充実を図っていく必要があります。	◎　平成19年度は、教員の指導力向上のために研究授業（理科・生活科を中心に）を年1回実施し、外部講師の指導を受け分かりやすい授業を目指します。 　今後も校内重点研究を継続し、年1回以上の研究授業を行い、平戸小の子どもの実態を把握しつつ、教科　領域を考え、教員の指導技術向上のために研鑽を積みます。 ◎　子ども一人ひとりの学力を高めるために、ティームティーチング・少人数制・教科担任制を取り入れ、きめ細かい指導を目指します。グループ分け等に工夫をし、基礎・基本の定着を図ります。 ・　教育相談を充実させ、個に応じた課題や悩みの解決にあたります。前期・後期のまとまりとして、今までの学習状況を知らせるとともに、課題に対する取組をじっくりと話し合う時間を確保します。
2　現代社会の中で、規範意識や公共心などの欠如が問題となっています。豊かな心を育む取組が必要と考えています。	◎　朝読書活動を全校で実施します。本を読む習慣を身に付け自分から本を選べることができる子を増やしていきます。 　また、保護者のボランティアグループと連携を深め、本と親しむ機会を増やしていきます。 　図書の電算化を図り、蔵書管理や貸出数、貸出頻度の把握など、電算化によって児童の読書傾向を把握し、図書室の利用を今以上に増やしていきます。 ・　「きもちよくあいさつをしよう」を年間の目標とし、あいさつのしっかりできる子を増やしていきます。教職員は登校してくる子どもたちを見守る活動と同時に声をかけることで、あいさつ運動を展開していきます。

3　子どもの体力向上が課題となっています。家庭や地域と連携しながら体力向上を図っていく必要があります。	◎　平成19年度からは市の新体力テスト（全8種目）として5～6年生8種目、3～4年生3種目、1～2年生3種目を実施します。平成21年度からは、1～6年生全8種目を実施します。 ◎　子どもたちが校庭で体を動かして体力づくりができるように自由に動き回ることができるよう中休みの時間を30分の時間を確保します。 ・　子どもの体力向上のために、夏期休業期間中に水泳指導を1～6年生まで8日間実施します。 　また、平成19年度からは、児童委員会活動をが中心としてドッジボール大会やなわとび大会等を開催し、楽しい活動を通して「体を動かすことが好き」な児童を増やしていきます。
4　子どもの安全を脅かす事件が後を絶ちません。安全･安心な学校づくりが必要となっています。	◎　学期の初めや長期休業日の後に集団登校を実施します。また、下校時刻をそろえ同じ学年の児童が一緒に下校できるようにし、保護者による「平戸小　防犯サポート隊」や地域の方々による見守り活動と連携して、子どもの安全を考えた体制をより充実していきます。 ○　メール配信を整備し、平戸小としての体制を整えます。

人材育成の考え方	◎増加が予想される新任教諭、若手教職員の育成を図るため、教育委員会主催の研修を活用するとともに校内研修を充実していきます。 ◎若手職員層の活力を学校全体の活性化につなげていくため、校内の若手職員との話し合いを持ち、学校運営にに反映させていきます。 ・　校長、副校長が先頭に立って、ベテラン職員層の活性を図る取り組みを進めるとともに、交流授業を通じて若手層の指導者としての自覚を高めます。 ・　複雑化する児童指導にに対応するため、児童指導担当教諭と特別支援コーディネーターの計画的な育成を進め、平成21年度までに、児童指導関係を主幹教諭の業務として位置づけていきます。
平成19年度の重点取組項目	・　朝読書の期間を7月･12月･1月、全校で読書活動の推進に取り組みます。 ・　「異学年交流による活動」を平戸小の特色ある教育の一つとしてとらえ、縦割り活動（休み時間のふれあいタイム･縦割り給食）、平戸スポーツフェスタ、ふるさと平戸とふれあう一日、卒業生を送る週間を総合的な学習の時間の一部として全校で取り組みます。 ・　「学校を開く週間」として10月27日（月）～10月31日（金）に全日参観を設定します。 ・　児童の安全な下校を確保するために下校時刻をそろえ、同じ学年の児童が一緒に下校できるようにします。
平成18年度の取組結果	学力の向上をめざして･･･国語の指導力向上をめざし研究授業を実施しました。長期休業前に教育相談を行い、休み前までの学習の様子や、休み中のめあて等保護者と話し合うことができました。学校を開く週間内の全日参観日を2日設定し実施しました。 豊かな心づくりとして･･･朝読書を位置づけ、全校で取り組むことができました。ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの協力を得て、夏休み前までに図書室の電算化を行い、児童が使いやすい図書室の運営を始めました。「気持ちよく挨拶しよう」という生活目標の徹底を図りました。 体力の向上をめざして･･･スポーツテストを実施しました。中休みのルールを徹底して怪我無く楽しく遊べる時間を確保しました。児童代表委員が中心となり、集会活動を通して体を動かすことが好きな児童を増やしていく計画を立て実施しました。 安全･安心な学校づくりとして･･･平成18年度1月に準備を始めた「メール配信」を10月までに完全整備し活用を始めました。地域･保護者の防犯サポート対に見守られながら、登下校を安全に行いました。
教育懇話会の意見	○　平戸小学校マニフェストを策定するに当り、平成18年10月13日に「平戸小学校『まち』とともに歩む懇話会」に意見をいただきました。主な意見は次のとおりです。 ・　日本語が乱れていると感じることが多い。学校では正しい言葉遣いができるよう指導を重ねていってほしい。 ・　これからの子どもはねばり強さが必要である。その力を付けていってほしい。 ・　朝会の時、1年生から6年生まで、一緒に静かに聞く態度ができている。これからもその良さを継続できるよう指導を続けていってほしい。 ・　あいさつのできる子どもが増えているが、誰に対しても礼儀正しい平戸小の子どもになれるよう育てていってほしい。 ・　平戸小の子どもは良い子が多いが、感謝の気持ちの持てる子どもになってほしい。

※1　この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト（中期学校運営計画）」として策定したものです。　※2　◎は重点項目